



ぶらり らいぶらりい

～図書室にはこんな本があります～

No. 271

*利用者からの質問をもとに昭和館図書室の資料をご紹介します。

【書名の後の () の数字は (請求記号 保管場所 資料番号) です。】

(問) 服部良一の作曲一覧を知りたい。

(答) 検索端末のトップ画面の【なんでも検索】にキーワードを入力します。

➤ **なんでも検索** ⇒ 「服部良一」 ⇒ 353 件

件数が多いので数を絞るために、一度トップ画面に戻り、著者名やタイトルに「服部良一」が含まれている図書に限定してみましよう。

➤ トップ画面 ⇒ **図書** ⇒ **著者名から探す** ⇒ 「服部良一」 ⇒ 3 件ヒット

『国歌謡』の3件が、作曲：服部良一であるためヒットしました。著者名には著者のほか、作曲者、撮影者、編集者なども含まれます。資料詳細情報の「内容注記」には3件とも「楽譜」と記されていた為、作曲一覧が掲載されている可能性は低いと予想しました。

➤ トップ画面 ⇒ **図書** ⇒ **タイトルから探す** ⇒ 「服部良一」 ⇒ 4 件ヒット

『上海ブギウギ 1945 服部良一の冒険』(762/H44 紹介本 000043675)

『昭和ブギウギ笠置シズ子と服部良一のリズム音曲』(767/W16 地下書庫和図書 060009397)

『服部良一 日本の音楽家を知るシリーズ』(767/H44 紹介本 000062670)

『評伝服部良一 日本ジャズ&ポップス史』(767/H44 紹介本 000056884)

この4冊の資料詳細情報の「目次」を見て、該当するものがないか見てみましょう。すると『評伝服部良一』に「服部良一ディスコグラフィ」という目次がありました。実際に中身を読んでみると、服部良一作品の発売年月・曲名・レコード番号・レコード会社・作詞・作曲・編曲・歌手・備考が記載されていました。

服部良一は、今期 NHK 朝の連続テレビ小説「ブギウギ」内でも話題の戦後の大ヒット曲「東京ブギウギ」の作曲者であり、他にも「銀座カンカン娘」、「青い山脈」など数々の人気曲を世に送り出しました。これらは5階の映像・音響室で音源を試聴することができます。

図書室には、書棚に並んでいる図書以外にもたくさん資料があります。

検索端末を使って、読みたい本を探してみてください。

操作方法等、カウンター職員までお気軽にお問い合わせください。



禁止された花づくり



食卓や部屋のインテリア、イベントや商業施設のディスプレイ、大切な人への贈り物など、くらしのなかのいろいろな場面に彩りを添えてくれる花。さまざまな物資が不足していた戦時中は、食糧の生産が優先され、花の栽培そのものが制限・禁止された時期がありました。

昭和16年(1941)10月、日中戦争が長期化するなか、食糧増産を目的に臨時農地等管理令に基づく農地作付統制規則が公布・施行されました。これは食糧にならない作物の新たな作付を抑制し、麦や芋など、食糧となる作物の作付へ転換させるというものでした。食べ物ではない花も不要不急の作物として栽培が制限されます。同年12月に太平洋戦争が開戦し、次第に戦局が悪化すると、食糧不足はますます深刻になり、昭和18年(1943)8月に第二次食糧増産対策要綱が閣議決定され、花の栽培への制約はいっそう厳しくなりました。

戦前から、冬でも温暖な気候を利用して花づくりが盛んだった千葉県では、花が作付禁止作物に指定され、苗や種の廃棄だけでなく、すでに植えてある花の抜き取りが徹底され、他の地域に比べ取締りが厳しかったといえます。統制規則に違反すると罰則があり、「食べる物がない時代に花を作るとは何事か。畑には麦を植えろ。」と、お互いを監視する体制がしかれ、花農家の人々は大変苦勞しました。そのときの証言が記録に残されています。

あのころは、わずかばかりの菊を、ひっそりと柿の木の下に植えておいたのですが、それも摘発されて、引き抜かれてしまいましたねえ……いやあ、情けないもんでした。わが子をなくすような、実にやり切れない思いをしておったものです。

『房総のふるさと 郷土の伝統を守る人々』

昭和十六年十二月十二日に花禁止令(農地作付統制細則)が出てから生活はガラリと変わってしまいましたね。畑一面にあった花をいっさい抜いて、麦や、芋を植えないといけないのですから……。開墾した山には、ソテツやアカシアの木が植わっていましたが、それもいけないと許されなかったのです。青年団の人たちでしようか、花を作っていた人のところに、たま(球根)や、種を隠していないか捜しにきました。隠していようものなら、国賊、非国民といわれますから、みんな泣く泣く海や山に捨てたんです。

『銃後 現代民話考 第二期 I』

このように厳しく困難な状況の下でも、球根や苗を鍋や土蔵の中に隠したり、誰も足を踏み入れない山の中に球根を密かに植えたりと、花づくりを守るために行動した人々がいました。この努力により、戦後、千葉県ではいち早く花づくりが再開されたといえます。

【参考文献】

『戦後日本の食料・農業・農村 第1巻 戦時体制期』(612/Se64/1 開架一般 000069459)

『史料週報 第21巻』(317/Sh89/21 閉架一般 000021015)

『学校が兵舎になったとき 新装版』(210.75/C42 開架一般 000045808)

『房総のふるさと 郷土の伝統を守る人々』(281/C42 閉架一般 060009399)

『銃後 現代民話考 第二期 I』(916/Ma88 閉架一般 000051738)

ぶらりらいぶらりい ~図書室にはこんな本があります~ NO. 271

2023年10月20日 発行/ 編集・発行 昭和館 図書室 〒102-0074 東京都千代田区九段南1-6-1